

孤高のロックバンド〈THE FOOLS〉。

10年かけて彼らの“生と死”に密着した壮絶なドキュメンタリー

TEL (396) 100

THE FOOLS

愚か者たちの歌



伊藤耕 川田良 福島誠二

村上雅保 關口博史 若林一也 大島一威

中嶋一徳 高安正文 栗原正明 庄内健

ラインプロデューサー: 伊賀倉健二 編集: 遠山慎二 同時刊行書籍: 志田歩『THE FOOLS MR. ロックンロール・フリーダム』(東京キララ社)

監督・撮影 高橋慎一(「Cu-Bop」)

2022年 / 日本 / カラー / ステレオ / 113分 / ヴィスタサイズ 配給: マーメイド・ブルム、コピアボア・フィルム

日本にストリート・ロックというものがあるとするなら…
それはフールズのことだよ — 江戸アケミ (JAGATAR)



アンダーグラウンドのカリスマに肉薄した衝撃のドキュメンタリー

サイコーなバンドの、サイコーな歴史の、サイコーな記録。
ケラリーノ・サンドロ・ヴィット
(音楽家・劇作家・演出家)

2013年1月、一人の男が横浜刑務所から出所してきた。男の名は伊藤耕。ロックバンド〈THE FOOLS〉のボーカリスト。1980年の結成以来、伊藤とギターの川田良を中心に、複数回のメンバー・チェンジを経ながらも長年に渡って活動を続けてきた〈THE FOOLS〉。拝金主義に唾を吐き、メジャーな音楽シーンとは一線を画したアティチュードがロックファンの間で熱く支持されるとともに、その高い音楽性や桁外れの破天荒さも相まってアンダーグラウンド・シーンの帝王として君臨してきた生ける伝説。本作は2012年から現在にいたるまで〈THE FOOLS〉のステージやメンバーたちのプライベートをカメラに収め、80年代、90年代、そして21世紀へと駆け抜けた彼らの孤高の戦いを辿るドキュメンタリーである。



逮捕、トラブル、メンバーの死…… 壮絶な生き様を通して描かれる魂の叫び

監督はキューバの音楽事情を生き生きと描いた『Cu-Bop』(15)の高橋慎一。10代の頃から憧れ、追いつけてきた〈THE FOOLS〉に10年かけて密着。新旧メンバーやその家族、さらにはザ・クロマニヨンズの甲本ヒロト、JAGATARのOTOやEBBYら関係者にも取材を重ね、メンバーの人生と並走し、ともに爆走しながらむきだしの魂を映像に刻みつける。伊藤の薬物による度重なる逮捕やトラブル、相次ぐメンバーの病死、そして伊藤の獄中死……。何度も想像を絶する崖っぷちに立たされながらも、その都度這い上がる〈THE FOOLS〉。彼らが命を賭けて残したものは、まさに壮絶な生き様がもたらした愛と反逆の音楽だった。生きることの意味や尊さを観る者に突きつける究極の問題作にして感動作!



◆ 映画制作と同時進行で取材、執筆された関連書籍

THE FOOLS
MR.ロックンロール・フリーダム
(志田歩・著 / 東京キララ社・刊)

2022年12月20日に発売!

thefoolsfilm2022.jp

©2022 愚か者たちの歌

2023年1月13日金 ぶちかませ!

鑑賞料金(税込): 当日一般 1,900円 / 大学生 1,500円 / 高校・中学生・シニア 1,000円
毎週水曜サービスデー 1,200円 TCGメンバーズカード会員割引: いつも 1,300円、火・木曜 1,100円

テアトルシネマグループ

ヒューマントラストシネマ渋谷

明治通沿い地下鉄B1出口正面ココチビル8F

03-5468-5551 | ttcg.jp